

資料1-①

第5回高齢者の生活実態と介護保険サービス等に関する意識調査について

目的	高齢者の日常生活状況や、介護保険(予防)サービスの利用状況、健康意識について把握するとともに、高齢者が置かれた課題を確認し、高齢者計画策定時の参考とするだけでなく、今後の高齢者福祉施策や介護保険制度運営に資する基礎資料を得る。
対象	府内に居住する65歳以上の高齢者 約6,200人(予定) 市町村別高齢者人口に応じて、各市町村の標本数を設定(圏域単位で調査に必要な標本数が取れるように設定)
時期	調査:令和元年10月(予定) 結果公表:令和2年2月(予定)
方法	郵送配付・郵送回収
構成	基本的な構成(質問内容や質問数、文字の大きさ、ふりがな、回答形式など)は前回と同様。 経年変化をみる項目は8項目設定。
分析	全質問項目について、クロス集計(例:高齢者福祉圏別、性別・年齢別、要支援・要介護度別、住宅種類別、世帯構成別など)
過去の実施状況	第1回(平成19年)、第2回(平成22年)、第3回(平成25年)、第4回(平成28年)…計画策定年度の前年度に実施。 前回(第4回)は、5,610人を対象に実施、回答数3,966人(回答率70.7%)